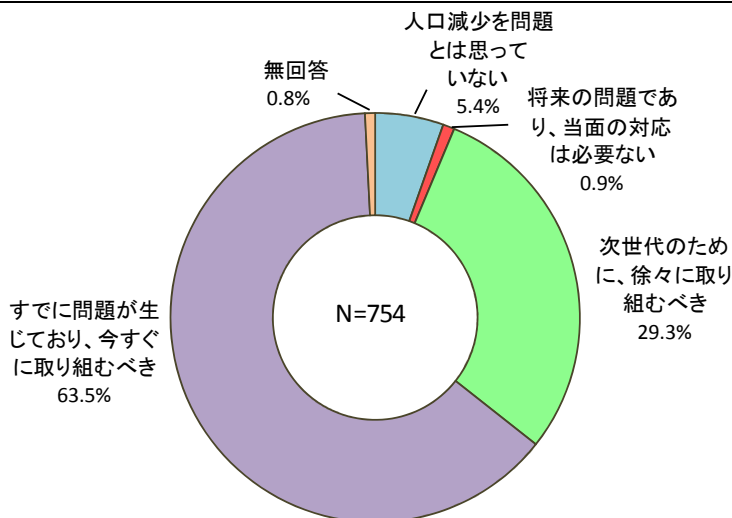


## 6. 地域づくりについて

### I 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて

問1 あなたは、人口問題のうち、人口減少についてどのように思いますか。次の中から1つだけお選びください。



#### 【全体】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」が63.5%と最も高く、次いで「次世代のために、徐々に取り組むべき」が29.3%、「人口減少を問題とは思っていない」が5.4%となっている。

#### 【圏域別】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」は、釧路・根室圏（74.3%）が最も高く、次いで道央圏（64.2%）となっている。「次世代のために、徐々に取り組むべき」は、十勝圏（34.0%）が最も高く、次いでオホーツク圏（32.6%）となっている。

#### 【人口規模別】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」は、町村部（69.1%）が最も高く、次いで人口10万人未満の都市（67.2%）となっている。「次世代のために、徐々に取り組むべき」は、人口10万人以上の都市（33.0%）が最も高く、次いで札幌市（29.8%）となっている。

#### 【性別】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」は、男性69.4%、女性57.6%となっている。「次世代のために、徐々に取り組むべき」は、男性22.5%、女性36.2%となっている。

#### 【年代別】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」は、60～69歳（73.0%）が最も高く、次いで70歳以上（70.8%）となっている。「次世代のために、徐々に取り組むべき」は、20～29歳（39.3%）が最も高く、次いで40～49歳（38.5%）となっている。

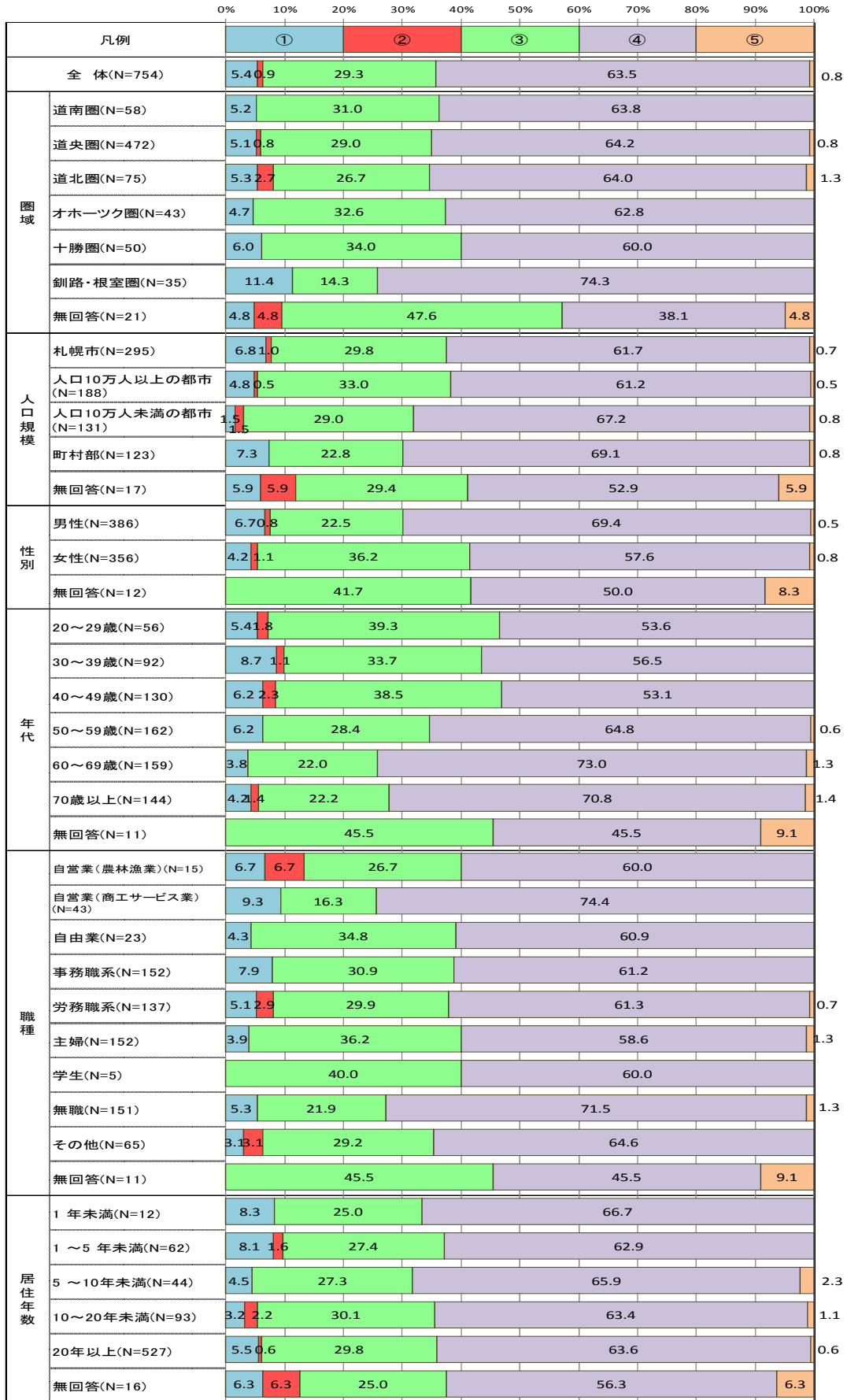
#### 【職種別】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」は、自営業（商工サービス業）（74.4%）が最も高く、次いで無職（71.5%）となっている。「次世代のために、徐々に取り組むべき」は、主婦（36.2%）、自由業（34.8%）で比較的高くなっている。

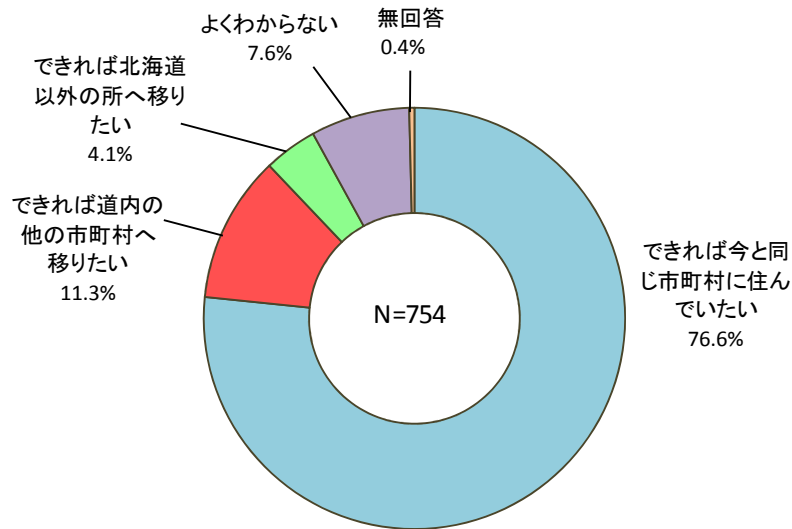
#### 【居住年数別】

「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」は、1年未満（66.7%）が最も高く、次いで5～10年未満（65.9%）となっている。「次世代のために、徐々に取り組むべき」は、10～20年未満（30.1%）が最も高く、次いで20年以上（29.8%）となっている。

- ①人口減少を問題とは思っていない  
 ②将来の問題であり、当面の対応は必要ない  
 ③次世代のために、徐々に取り組むべき  
 ④すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき ⑤無回答



問2 あなたは、現在住んでいる市町村にこれからも住みたいと思いますか。次の中から1つだけお選びください。



**【全体】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」が76.6%と最も高く、次いで「できれば道内の他の市町村へ移りたい」が11.3%、「よくわからない」が7.6%となっている。

**【圏域別】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」は、道央圏(78.6%)が最も高く、次いで十勝圏(78.0%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」は、道北圏(17.3%)が最も高く、次いで十勝圏(14.0%)となっている。

**【人口規模別】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」は、札幌市(84.4%)が最も高く、次いで町村部(78.0%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」は、人口10万人未満の都市(24.4%)が最も高く、次いで人口10万人以上の都市(12.8%)となっている。

**【性別】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」は、男性76.2%、女性77.5%となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」は、男性11.7%、女性11.2%となっている。

**【年代別】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」は、70歳以上(87.5%)が最も高く、次いで60～69歳(83.6%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」は、20～29歳(26.8%)が最も高く、次いで50～59歳(14.8%)となっている。

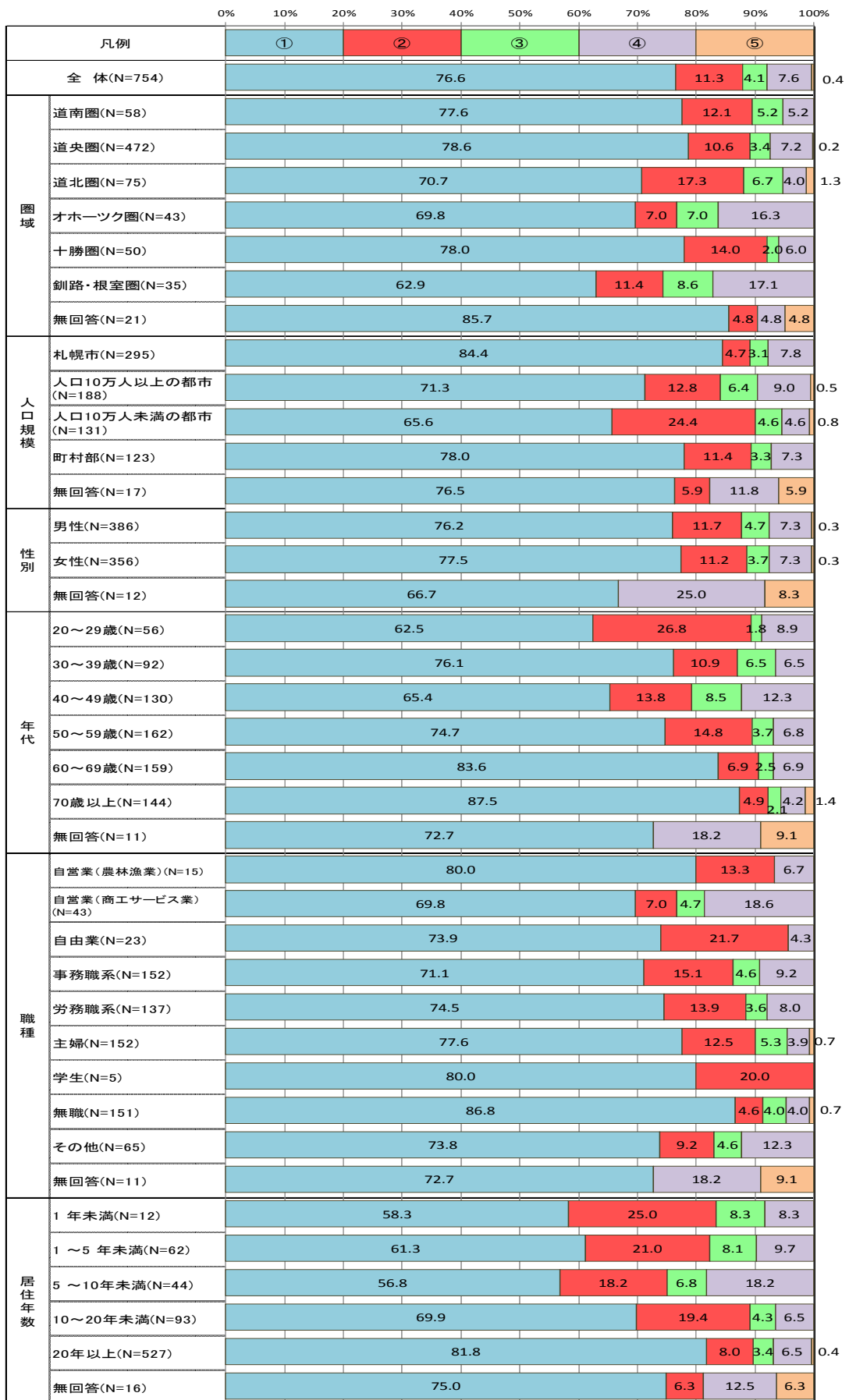
**【職種別】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」は、無職(86.8%)が最も高く、次いで自営業(農林漁業)(80.0%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」は、自由業(21.7%)が最も高く、事務職系(15.1%)でも比較的高くなっている。

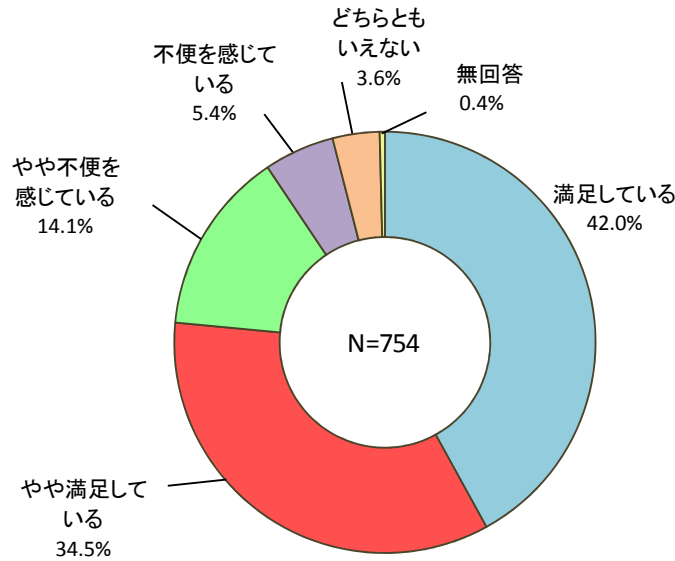
**【居住年数別】**

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」は、20年以上(81.8%)が最も高く、次いで10～20年未満(69.9%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」は、1年未満(25.0%)が最も高く、次いで1～5年未満(21.0%)となっている。

- ①できれば今と同じ市町村に住んでいたい
- ②できれば道内の他の市町村へ移りたい
- ③できれば北海道以外の所へ移りたい
- ④よくわからない
- ⑤無回答



問3 あなたは、食料品などの日々の買い物に満足を感じていますか。次の中から1つだけお選びください。



#### 【全体】

「満足している」が 42.0%と最も高く、次いで「やや満足している」が 34.5%、「やや不便を感じている」が 14.1%となっている。

#### 【圏域別】

「満足している」は、道央圏（47.0%）が最も高く、次いで釧路・根室圏（42.9%）となっている。

「やや満足している」は、オホーツク圏（44.2%）が最も高く、次いで道北圏（40.0%）となっている。

#### 【人口規模別】

「満足している」は、札幌市（56.3%）が最も高く、次いで町村部（33.3%）となっている。

「やや満足している」は、人口 10 万人以上の都市（38.8%）が最も高く、次いで人口 10 万人未満の都市（37.4%）となっている。

#### 【性別】

「満足している」は、男性 41.7%、女性 43.0%となっている。「やや満足している」は、男性 37.6%、女性 31.2%となっている。

#### 【年代別】

「満足している」は、70 歳以上（45.1%）が最も高く、次いで 30～39 歳（44.6%）となっている。「やや満足している」は、40～49 歳（37.7%）が最も高く、次いで 20～29 歳（37.5%）となっている。

#### 【職種別】

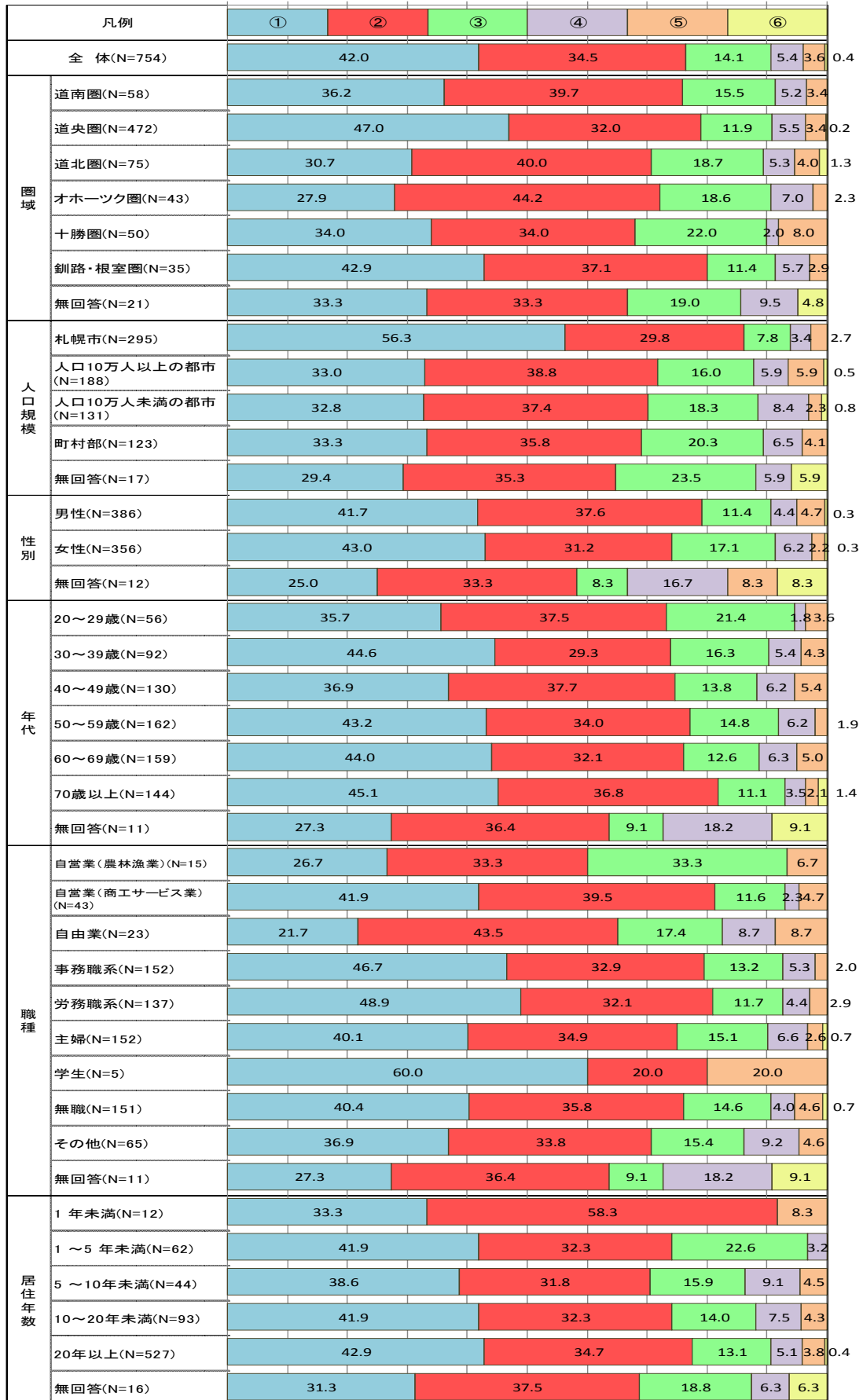
「満足している」は、労務職系（48.9%）事務職系（46.7%）で比較的高くなっている。「やや満足している」は、自由業（43.5%）が最も高く、次いで自営業（商工サービス業）（39.5%）となっている。

#### 【居住年数別】

「満足している」は、20 年以上（42.9%）が最も高く、次いで 1～5 年未満、10～20 年未満（ともに 41.9%）となっている。「やや満足している」は、1 年未満（58.3%）が最も高く、次いで 20 年以上（34.7%）となっている。

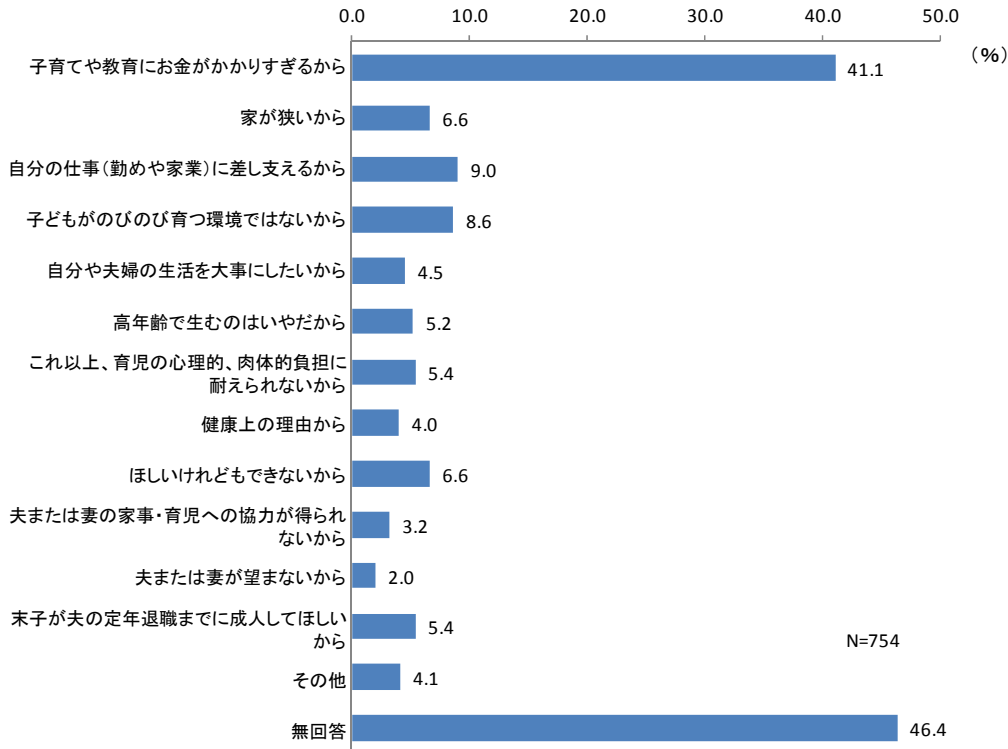
①満足している ②やや満足している ③やや不便を感じている  
④不便を感じている ⑤どちらともいえない ⑥無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問4 ※結婚されている方のみお答えください。実際に持つつもりの子どもの数が、理想とする子どもの数に比べて少ない方に伺います。その理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○を付け（いくつでも可）、その中で最も重要な理由には◎を1つだけ付けてください。

＜実際に持つつもりの子どもの数が理想とする数より少ない理由 (1) あてはまるもの全て＞



#### 【全体】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が41.1%と最も高く、次いで「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」が9.0%、「子どもがのびのび育つ環境ではないから」が8.6%となっている。

#### 【圏域別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、十勝圏(50.0%)が最も高く、次いで道北圏(49.3%)となっている。「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」は、釧路・根室圏(14.3%)が最も高く、次いで十勝圏(12.0%)となっている。

#### 【人口規模別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、人口10万人以上の都市(44.7%)が最も高く、次いで札幌市(43.1%)となっている。「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」は、人口10万人以上の都市(12.2%)が最も高く、次いで人口10万人未満の都市(9.9%)となっている。

#### 【性別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、男性43.0%が、女性40.2%となっている。「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」は、男性7.5%、女性10.7%となっている。

#### 【年代別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、30～39歳(55.4%)が最も高く、次いで40～49歳(51.5%)となっている。「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」は、30～39歳(19.6%)が最も高く、次いで40～49歳(11.5%)となっている。

**【職種別】**

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、主婦（52.6%）が最も高く、次いで労務職系（49.6%）となっている。「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」は、事務職系（17.1%）が最も高く、次いで自由業（13.0%）となっている。

**【居住年数別】**

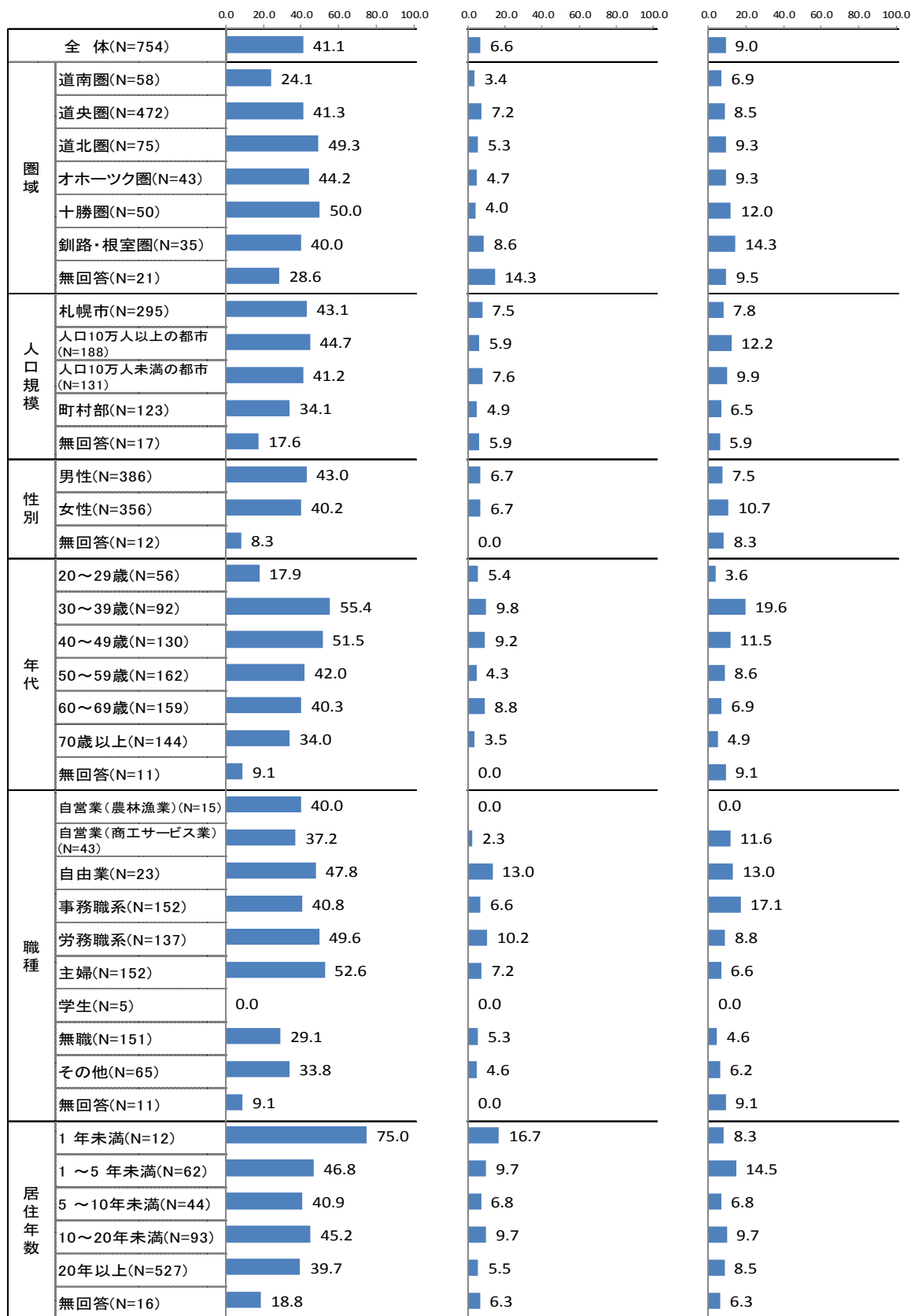
「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、1年未満（75.0%）が最も高く、次いで1～5年未満（46.8%）となっている。「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」は、1～5年未満（14.5%）が最も高く、次いで10～20年未満（9.7%）となっている。。



子育てや教育にお金がかかりすぎるから

家が狭いから

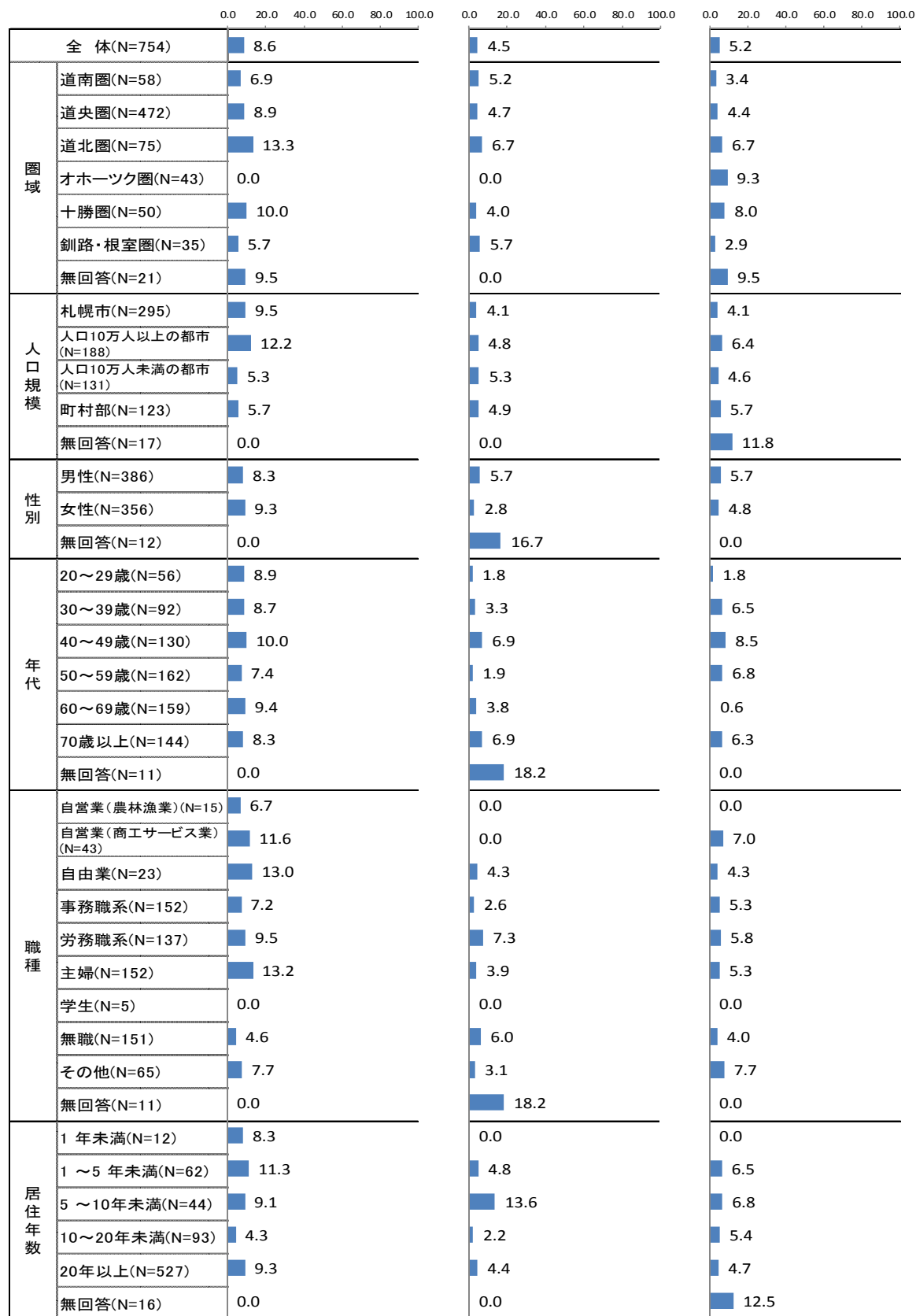
自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから



子どもがのびのび育つ  
環境ではないから

自分や夫婦の生活を大  
事にしたいから

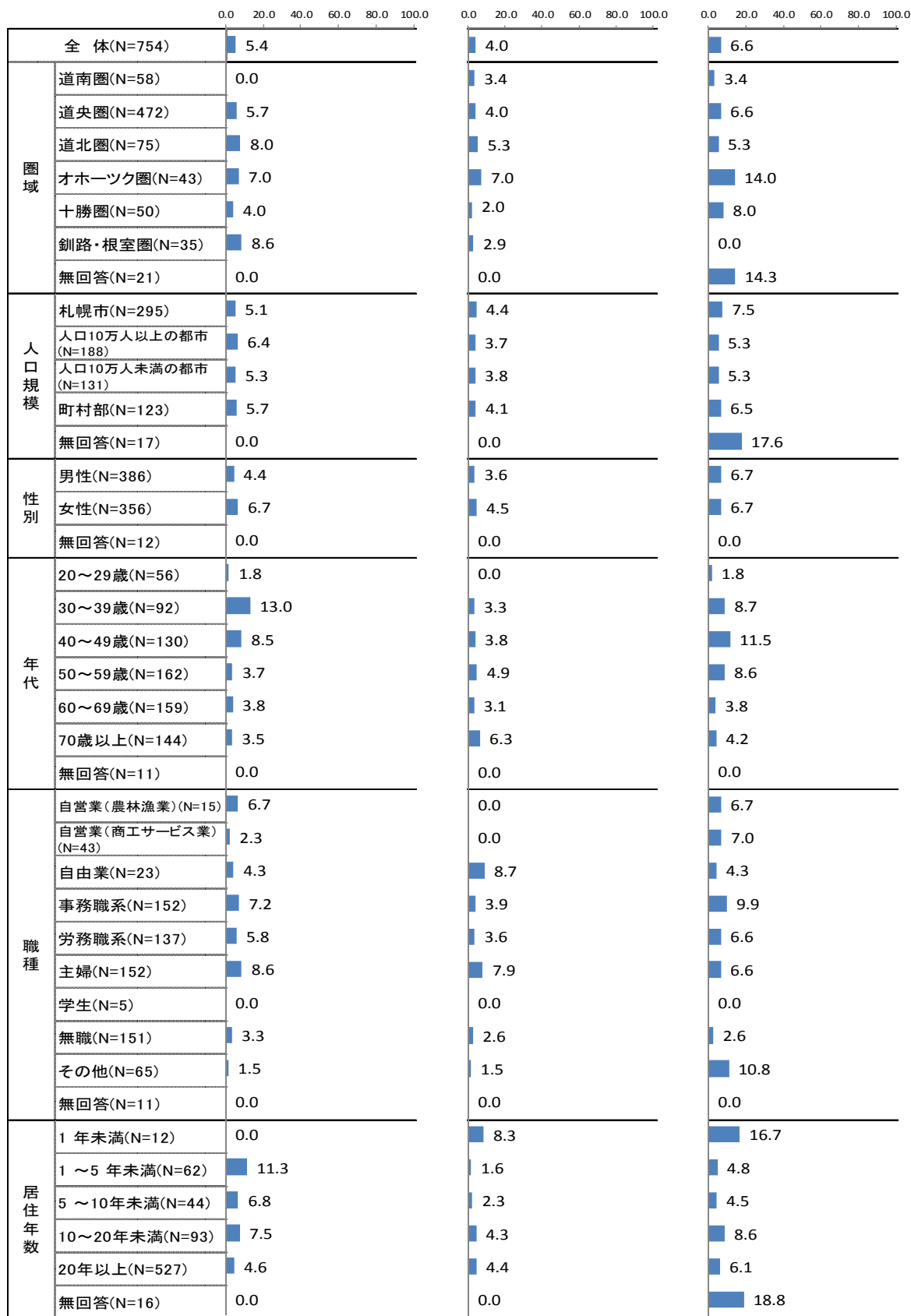
高齢で生むのはいや  
だから

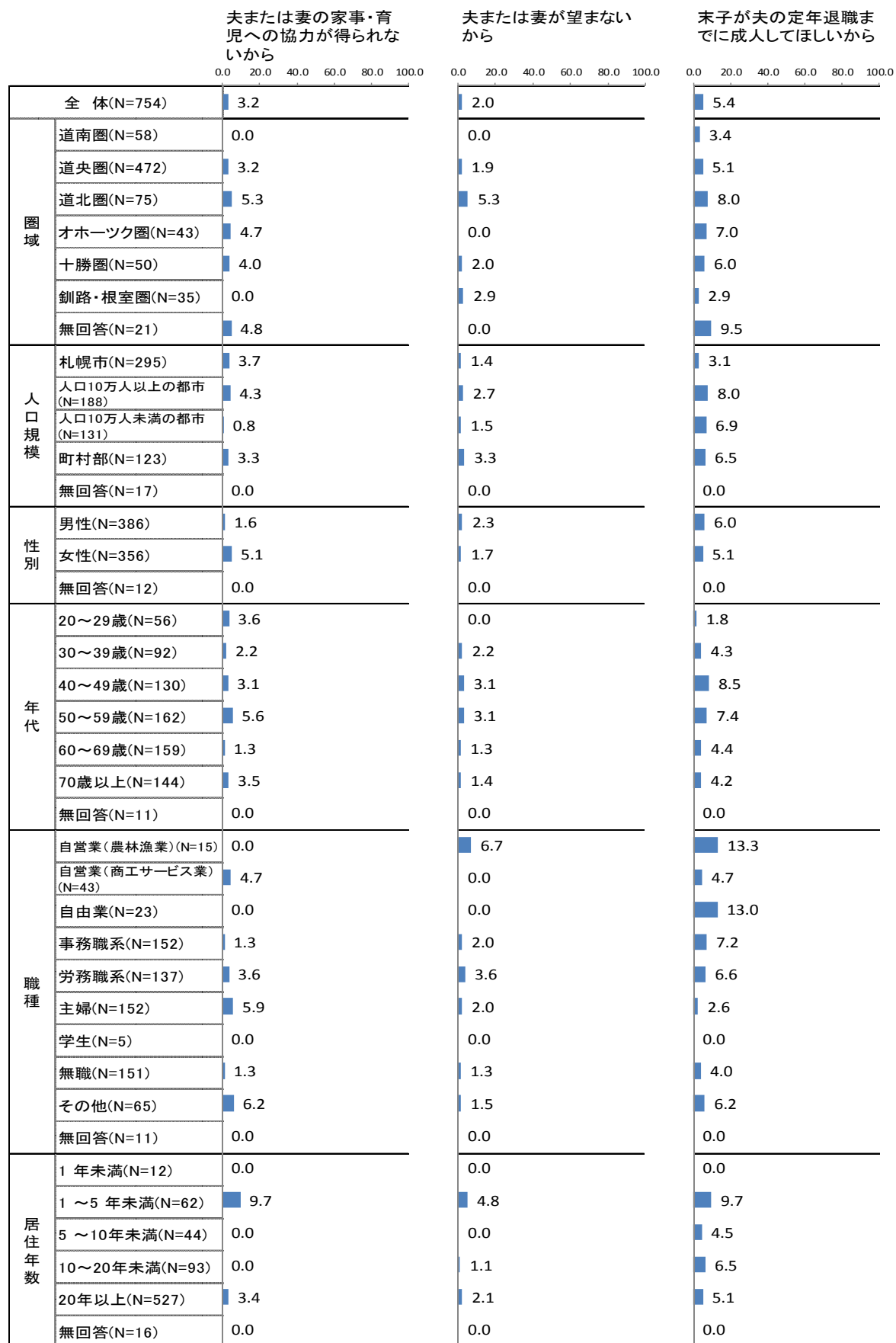


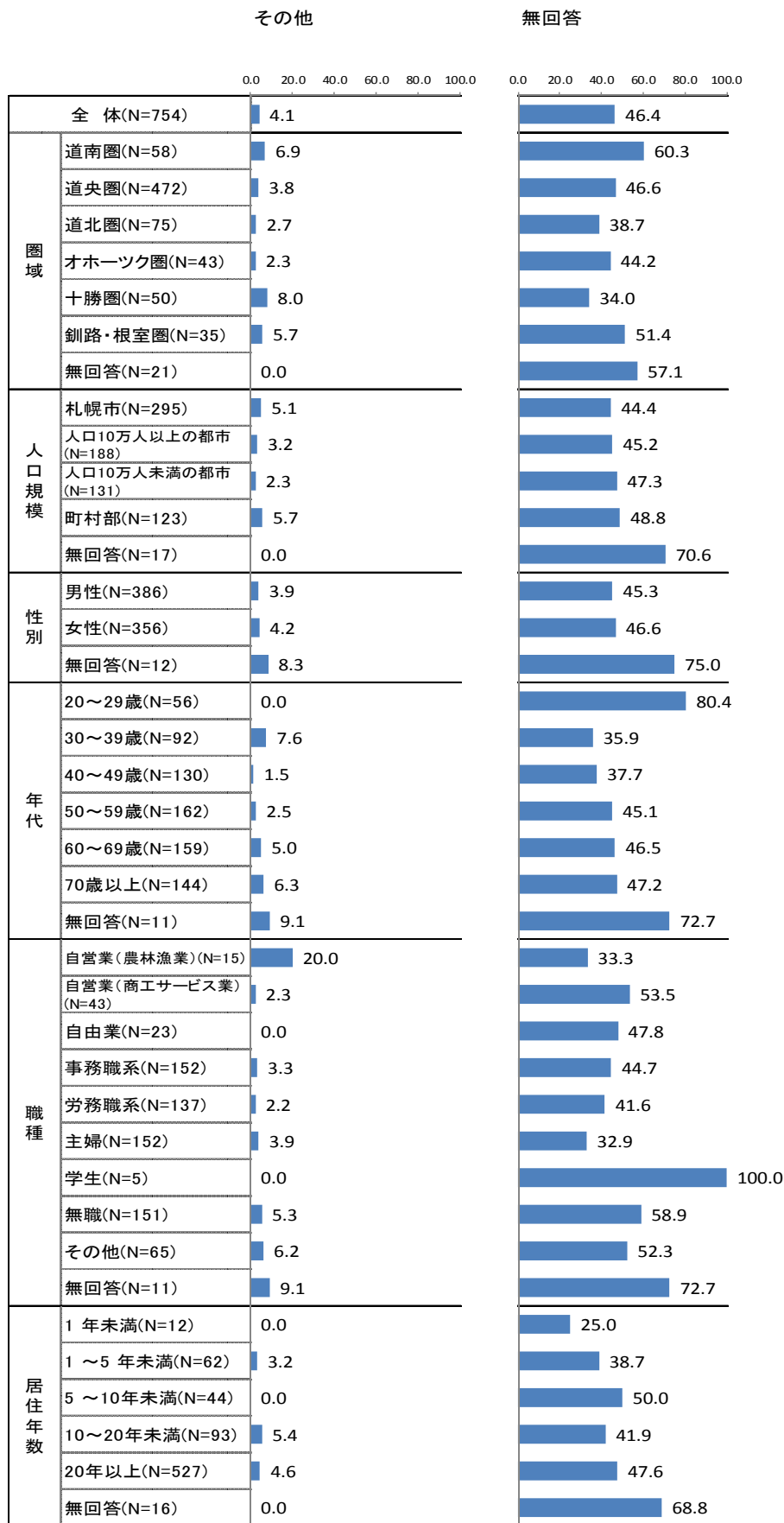
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから

健康上の理由から

ほしいけれどもできないから

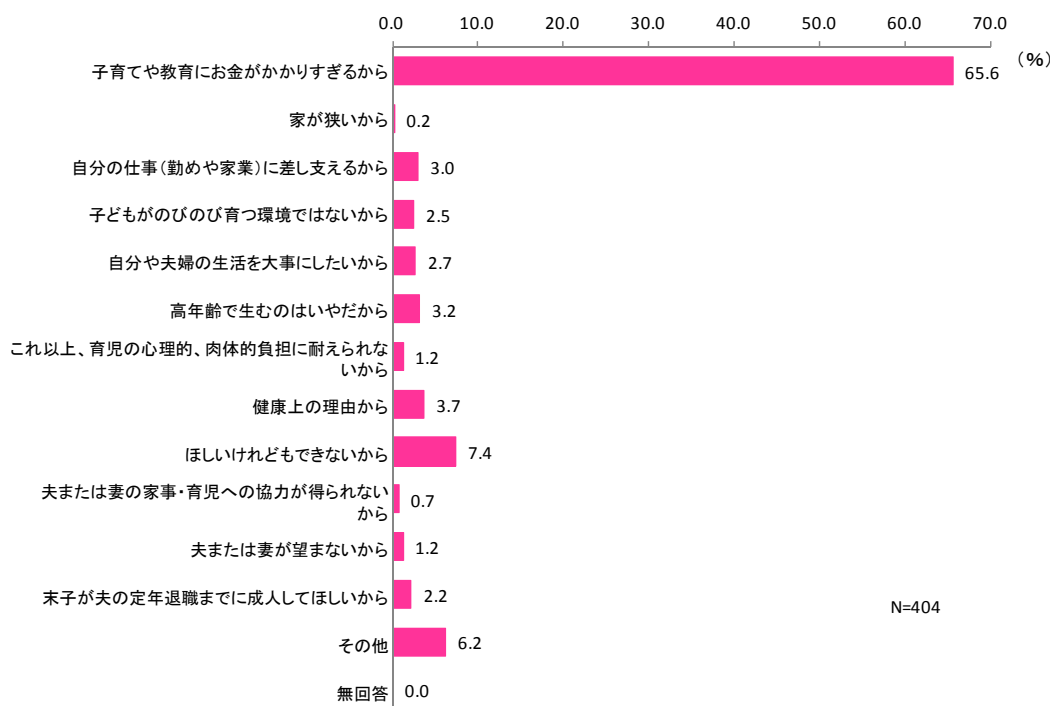






＜実際に持つつもりの子どもの数が理想とする数より少ない最も重要な理由 (2) 最も重要な理由＞

※ここでは、＜実際に持つつもりの子どもの数が理想とする数より少ない理由 (1) あてはまるもの全て＞の回答数を母数 (N 数) としている。



【全体】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 65.6%、「ほしいけれどもできないから」が 7.4%、「その他」が 6.2%となっている。

【圏域別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、釧路・根室圏 (76.5%) が最も高く、次いで道北圏 (71.7%) となっている。「ほしいけれどもできないから」は、オホーツク圏 (12.5%) が最も高く、次いで道央圏 (7.9%) となっている。

【人口規模別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、人口 10 万人未満の都市 (71.0%) が最も高く、次いで人口 10 万人以上の都市 (70.9%) となっている。「ほしいけれどもできないから」は、人口 10 万人未満の都市 (8.7%) が最も高く、次いで札幌市 (7.9%) となっている。

【性別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、男性 64.9%、女性 67.4%となっている。「ほしいけれどもできないから」は、男性 9.0%、女性 5.8%となっている。

【年代別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、20～29 歳 (90.9%) が最も高く、次いで 40～49 歳 (69.1%) となっている。「ほしいけれどもできないから」は、40～49 歳 (11.1%) が最も高く、次いで 50～59 歳 (10.1%) となっている。

【職種別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、労務職系 (76.3%) が最も高く、次いで自由業 (75.0%) となっている。「ほしいけれどもできないから」は、事務職系 (11.9%) が最も高く、次いで自営業 (農林漁業)、自営業 (商工サービス業) (ともに 10.0%) となっている。

**【居住年数別】**

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、1年未満（77.8%）が最も高く、次いで10～20年未満（70.4%）となっている。「ほしいけれどもできないから」は、1年未満（11.1%）が最も高く、次いで10～20年未満（9.3%）となっている。

	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	家が狭いから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大事にしたいから	高齢で生むのはいやだから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	
全体(N=404)	65.6	0.2	3.0	2.5	2.7	3.2	1.2	
圏域	道南圏(N=23)	47.8	0.0	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0
	道央圏(N=252)	64.7	0.4	3.6	2.8	3.2	3.6	0.8
	道北圏(N=46)	71.7	0.0	0.0	4.3	2.2	4.3	0.0
	オホーツク圏(N=24)	70.8	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	十勝圏(N=33)	66.7	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	6.1
	釧路・根室圏(N=17)	76.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
	無回答(N=9)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	札幌市(N=164)	64.0	0.6	2.4	3.0	2.4	4.9	0.6
人口規模	人口10万人以上の都市(N=103)	70.9	0.0	3.9	2.9	1.0	2.9	1.0
	人口10万人未満の都市(N=69)	71.0	0.0	2.9	1.4	4.3	0.0	0.0
	町村部(N=63)	55.6	0.0	3.2	1.6	4.8	3.2	4.8
	無回答(N=5)	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性(N=211)	64.9	0.0	2.8	2.4	2.4	3.8	1.4
	女性(N=190)	67.4	0.5	2.6	2.6	2.6	2.6	1.1
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
年代	20～29歳(N=11)	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(N=59)	67.8	1.7	10.2	0.0	5.1	1.7	0.0
	40～49歳(N=81)	69.1	0.0	1.2	1.2	1.2	3.7	3.7
	50～59歳(N=89)	67.4	0.0	2.2	2.2	0.0	5.6	0.0
	60～69歳(N=85)	68.2	0.0	1.2	2.4	3.5	0.0	1.2
	70歳以上(N=76)	53.9	0.0	1.3	6.6	3.9	5.3	1.3
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
職種	自営業(農林漁業)(N=10)	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業(商工サービス業)(N=20)	45.0	0.0	15.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	自由業(N=12)	75.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	事務職系(N=84)	60.7	0.0	7.1	1.2	0.0	0.0	2.4
	労務職系(N=80)	76.3	0.0	2.5	2.5	3.8	2.5	0.0
	主婦(N=102)	69.6	0.0	0.0	2.9	2.9	4.9	1.0
	学生(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職(N=62)	62.9	0.0	0.0	3.2	4.8	3.2	1.6
	その他(N=31)	61.3	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5	0.0
	無回答(N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
居住年数	1年未満(N=9)	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～5年未満(N=38)	63.2	0.0	7.9	0.0	2.6	0.0	2.6
	5～10年未満(N=22)	63.6	0.0	4.5	0.0	13.6	4.5	4.5
	10～20年未満(N=54)	70.4	0.0	3.7	0.0	1.9	1.9	3.7
	20年以上(N=276)	64.9	0.4	2.2	3.6	2.2	4.0	0.4
	無回答(N=5)	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



	健康上の理由から	ほしいけれどもできないから	夫または妻の家事・育児への協力が得られないから	夫または妻が望まないから	末子が夫の定年退職までに成人してほしいから	その他	無回答
全体(N=404)	3.7	7.4	0.7	1.2	2.2	6.2	0.0
圏域							
道南圏(N=23)	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7	13.0	0.0
道央圏(N=252)	3.6	7.9	0.8	0.8	2.4	5.6	0.0
道北圏(N=46)	4.3	6.5	0.0	2.2	0.0	4.3	0.0
オホーツク圏(N=24)	8.3	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
十勝圏(N=33)	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	9.1	0.0
釧路・根室圏(N=17)	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0
無回答(N=9)	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
人口規模							
札幌市(N=164)	3.0	7.9	1.8	0.0	1.2	7.9	0.0
人口10万人以上の都市(N=103)	2.9	6.8	0.0	1.9	1.9	3.9	0.0
人口10万人未満の都市(N=69)	4.3	8.7	0.0	1.4	2.9	2.9	0.0
町村部(N=63)	6.3	3.2	0.0	3.2	4.8	9.5	0.0
無回答(N=5)	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別							
男性(N=211)	2.8	9.0	0.5	1.4	2.8	5.7	0.0
女性(N=190)	4.7	5.8	1.1	1.1	1.6	6.3	0.0
無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
年代							
20～29歳(N=11)	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳(N=59)	1.7	3.4	0.0	0.0	1.7	6.8	0.0
40～49歳(N=81)	2.5	11.1	0.0	1.2	3.7	1.2	0.0
50～59歳(N=89)	3.4	10.1	1.1	2.2	2.2	3.4	0.0
60～69歳(N=85)	4.7	5.9	1.2	1.2	2.4	8.2	0.0
70歳以上(N=76)	6.6	5.3	1.3	1.3	1.3	11.8	0.0
無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
職種							
自営業(農林漁業)(N=10)	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
自営業(商工サービス業)(N=20)	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0
自由業(N=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
事務職系(N=84)	4.8	11.9	0.0	2.4	4.8	4.8	0.0
労務職系(N=80)	2.5	6.3	0.0	1.3	1.3	1.3	0.0
主婦(N=102)	6.9	4.9	0.0	1.0	1.0	4.9	0.0
学生(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職(N=62)	3.2	6.5	0.0	1.6	1.6	11.3	0.0
その他(N=31)	0.0	9.7	6.5	0.0	3.2	9.7	0.0
無回答(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
居住年数							
1年未満(N=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～5年未満(N=38)	2.6	5.3	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0
5～10年未満(N=22)	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10～20年未満(N=54)	1.9	9.3	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0
20年以上(N=276)	4.3	6.5	1.1	1.1	1.8	7.6	0.0
無回答(N=5)	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## ◇地域づくりについて（その1）

### 「I 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて」の調査を終えて

---

人口問題のうち、人口減少についての認識に関しては、6割以上の方が「すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき」と感じているほか、「次世代のために、徐々に取り組むべき」との回答が約3割で、多くの方が人口減少に関する取組の必要性を感じている。

居住市町村に関する意識については、7割以上の方が「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と回答しており、食料品などの日々の買い物に関しては、「満足している」・「やや満足している」と回答した方が7割以上となった。

理想とする子どもの数を持つことができない理由については、有効回答のうち「子育てや教育にお金がかかりすぎるから（41.1%）」が最も高かった。

これらの調査結果も踏まえ、北海道創生総合戦略（推進期間 平成 27～31 年度）の検証を実施し、本道における地域社会の創生に向けた施策を計画的に推進していく。

（総合政策部地域創生局地域戦略課）